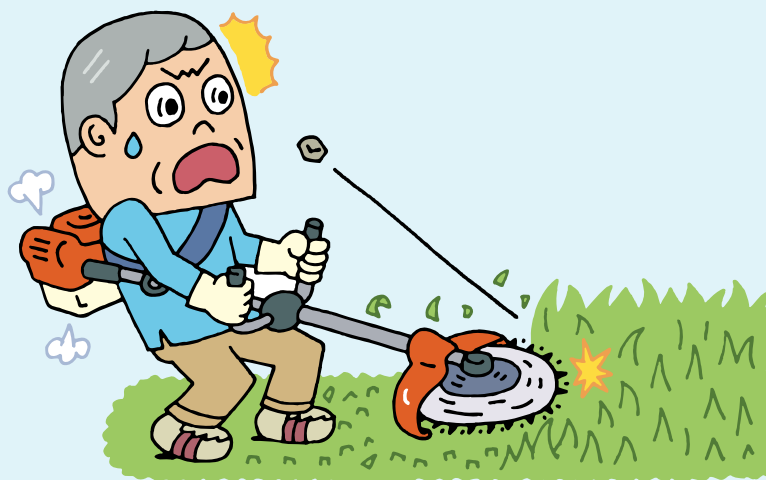


見守り 新鮮情報

エンジン式の**刈払機**で田んぼのあぜ道の草を刈っていたところ、金属製の**刃**がコンクリートに**当たり**、欠けて飛んできた**コンクリート片**が**右目**に入った。

保護メガネは着用していなかった。目に**傷**がつき**出血**し、**視力**も**低下**してしまった。

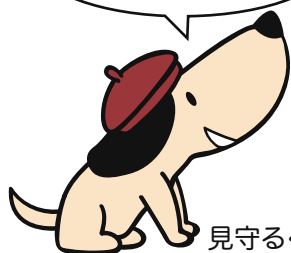
(60歳代 男性)



気をつけて 刈払機(草刈機)の使用中 に大けがをすることも

ひとこと助言

作業する前に
確認しよう



見守るくん

- 刈払機(草刈機)の使用中に、高速で回転する刈刃が石などの異物に接触すると、異物や刃の破片が飛び散ったりして、作業員自身や周囲の人に当たり、重篤なけがにつながる危険性があります。
- 異物が多い場所だけでなく、壁などの障害物がある場所では、金属製の刈刃よりもナイロンカッターを使用するとよいでしょう。
- 使用前には機械の点検を行い、刈刃の防護カバーを必ず設置しましょう。作業するときにはヘルメットや保護メガネ、手袋などの保護具を着用してください。
- 地面に小石や枝、空き缶などがいないか確認し、除去してから作業を始めましょう。